

平成 26 年 12 月 10 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

サンデン株式会社に「S M B C 環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）はサンデン株式会社（代表取締役社長：山本 満也）に対し、「S M B C 環境配慮評価融資」を実施致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「S M B C 環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、サンデン株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握」「環境マネジメントシステム」「環境保全対策の取組みの状況」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、事業活動に伴う主な環境負荷項目について、貴社および国内外のグループ会社全体で把握されている点、2014～2018年度までの「中期環境基本方針」を策定し、PDCA サイクルを回しながら環境対策の継続的な改善に努められているほか、2020年度までに CO2 排出量を 25%削減（2000 年度比）という目標も設定され、長期的な視点をもった取り組みを進めておられる点、大規模な近自然工法を導入したサンデンフォレスト・赤城事業所が環境保全対策のシンボルとして定着し、企業イメージの向上といった企業価値の向上に結実しておられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



環境製品の研究開発をしているサンデングローバルセンターオブテクノロジー



環境と産業の矛盾なき共存を実現したサンデンフォレスト・赤城事業所



近自然工法を導入し生物多様性保全に取り組む

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。